

(別紙 1)

令和元年度～令和5年度 社会福祉法人八起社 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人八起社		法人番号	8180005002859				
法人代表者氏名	理事長 長谷川 弘之							
法人の主たる所在地	愛知県名古屋市中天白区植田山二丁目101番地							
連絡先	052-781-2859							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和 元年 6月14日							
評議員会の承認年月日	令和 元年 6月18日							
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成30年度末現在)	1か年度目 (令和元年度末現在)	2か年度目 (令和2年度末現在)	3か年度目 (令和3年度末現在)	4か年度目 (令和4年度末現在)	5か年度目 (令和5年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	34,830 千円	22,774 千円	13,904 千円	10,300 千円	3,604 千円	0千円		0千円
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)		▲12,056 千円	▲8,870 千円	▲3,604 千円	▲6,696 千円	▲3,604 千円	▲34,830 千円	
本計画の対象期間	令和元年7月1日～令和6年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	ICT設備(利用者情報をタブレット端末機で共有化する技術等)の導入	社会福祉事業	新規	各書類を手書きから電子化とすることにより、業務の効率化を図る。また、職員がタブレット端末から迅速に情報共有することにより、利用者への処遇向上を図るもの。	無	9,941 千円

	電動ベッドの拡充	社会福祉事業	既存	手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がりが、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	無	3,003 千円	
	面談室の整備	社会福祉事業	新規	利用者との面談を行うために、新たに面談室を整備する。面接環境を整えることで、利用者のプライバシー保護や、より一層の処遇向上を図るもの。	有	659 千円	
	LED化	社会福祉事業	既存	生活の質の向上、利用者の安全性向上、作業性の確保、非常時の安全確保、発火等の危険性を回避するため器具ごと更新するもの	有	2,558 千円	
	居室のアメニティ向上	社会福祉事業	既存	襖・畳を張替し、防汚性等を向上させ、生活の質を向上させるもの。	有	1,499 千円	
	小計						17,660 千円
2か年度目	電動ベッドの拡充	社会福祉事業	既存	手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がりが、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	無	2,402 千円	
	LED化	社会福祉事業	既存	生活の質の向上、利用者の安全性向上、作業性の確保、非常時の安全確保、発火等の危険性を回避するため器具ごと更新するもの	有	5,148 千円	
	居室のアメニティ向上	社会福祉事業	既存	共用洗面所は、居室の外に設置されており、冬期は水が冷たい状況であるため、温水機能を付けることにより、利用者の生活環境の向上を図るもの。	有	1,320 千円	
	小計						8,870 千円

3か年度目	電動ベッドの拡充	社会福祉事業	既存	手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がりが、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	無	3,604 千円
	小計					3,604 千円
4か年度目	電動ベッドの拡充	社会福祉事業	既存	手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がりが、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	無	2,402 千円
	LED化	社会福祉事業	既存	生活の質の向上、利用者の安全性向上、作業性の確保、非常時の安全確保、発火等の危険性を回避するため器具ごと更新するもの	有	4,294 千円
	小計					6,696 千円
5か年度目	電動ベッドの拡充	社会福祉事業	既存	手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がりが、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	無	3,604 千円
	小計					3,604 千円
合計						40,434 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

### 3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 職員の業務負担の軽減を図ること。また、利用者情報を共有することにより、利用者処遇の向上を図る為ICTシステムを導入することとした。</li> <li>2 手動ベッドを電動化することにより、職員の身体的負担の軽減を図る。また、ベッドの低床化により、利用者の立ち上がりが、より容易となる等の処遇向上を図る為導入することとした。</li> </ol>

	<p>3 居室の改装、照明の取替、温水機能を付けることにより、利用者の生活環境が向上するので行うこととした。</p> <p>4 利用者のプライバシー保護のため、面談室を整備することとした。</p>
② 地域公益事業	
③ ①及び②以外の公益事業	

#### 4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
	計画の実施期間における事業費合計	17,660 千円	8,870 千円	3,604 千円	6,696 千円	3,604 千円	40,434 千円
財源構成	社会福祉充実 残額	12,056 千円	8,870 千円	3,604 千円	6,696 千円	3,604 千円	34,830 千円
	補助金	4,500 千円					
	借入金						
	事業収益	1,104 千円					
	その他						

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

#### 5. 事業の詳細

事業名	ICT設備（利用者情報をタブレット端末機で共有化する技術等）の導入	
主な対象者	老人ホーム誠和荘に在職している職員	
想定される対象者数	約 80 名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
事業内容	<p>養護老人ホーム誠和荘・特別養護老人ホーム誠和荘・デイサービスセンター誠和荘で作成している各書類を手書きから電子化とすることにより、業務の効率化を図る。また、職員がタブレット端末から迅速に情報共有することにより、利用者への処遇向上を図るもの。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	ICTシステムの導入
	2か年度目	(ICTシステム使用継続)

	3か年度 目	(ICTシステム使用継続)
	4か年度 目	(ICTシステム使用継続)
	5か年度 目	(ICTシステム使用継続)
事業費積算 (概算)	ICTシステム導入：9,941千円程度	
	合計	9,941千円(うち社会福祉充実残額充当額 5,441千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

事業名	電動ベッドの拡充	
主な対象者	特別養護老人ホーム利用者	
想定される対象者数	50名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和元年7月1日～令和6年3月31日	
事業内容	特別養護老人ホーム誠和荘及び、特別養護老人ホーム東和荘にある手動ベッドを電動化することにより、職員の介護負担軽減を図る。また、既存のベッドよりさらに、低床とすることにより、利用者の立ち上がり、より容易になる等の処遇向上を図るもの。	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	電動ベッドの導入
	2か年度 目	電動ベッドの導入
	3か年度 目	電動ベッドの導入
	4か年度 目	電動ベッドの導入

	5か年度 目	電動ベッドの導入
事業費積算 (概算)	電動ベッド導入：15,014千円程度	
	合計	15,016千円（うち社会福祉充実残額充当額 13,912千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	居室のアメニティ向上	
主な対象者	養護老人ホーム入所者	
想定される対象者数	約 60 名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和元年 7 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
事業内容	<p>養護老人ホーム誠和荘東棟の 22 部屋の洗面所は 2 部屋ごとに共用となっている。また、洗面所は居室の外に設置されており、冬期は水が冷たい状況であるため、温水機能を付けることにより、利用者の生活環境の向上を図るもの。</p> <p>養護老人ホーム東和荘居室の襖・畳を張替し、防汚性等を向上させ、生活の質を向上させる。また、車椅子に対応できる居室を 4 部屋改築し、バリアフリー化するもの。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度 目	養護老人ホーム東和荘居室のアメニティ向上
	2か年度 目	養護老人ホーム誠和荘居室のアメニティ向上
	3か年度 目	—
	4か年度 目	—
	5か年度 目	—

事業費積算 (概算)	養護老人ホーム東和荘居室襖・畳張替、バリアフリー化：1,499 千円程度 養護老人ホーム誠和荘洗面所温水器導入：1,320 千円程度	
	合計	2,819 千円（うち社会福祉充実残額充当額 2,819 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	

事業名	LED化	
主な対象者	老人ホーム東和荘、老人ホーム寿荘の職員及び利用者	
想定される対象者数	約 550 名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和元年 7 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日	
事業内容	老人ホーム東和荘、老人ホーム寿荘の居室・廊下・ケアセンターの照明を LED 化することにより、利用者の歩行の安全性を向上、作業性の確保、非常時の安全確保、発火等の危険性を回避するため器具ごと更新するもの	
事業の実施スケジュール	1 か年度 目	老人ホーム東和荘 LED の導入 老人ホーム寿荘 LED の導入
	2 か年度 目	老人ホーム東和荘 LED の導入
	3 か年度 目	—
	4 か年度 目	老人ホーム東和荘 LED の導入
	5 か年度 目	—
事業費積算 (概算)	LED 導入：11,999 千円程度	
	合計	11,999 千円（うち社会福祉充実残額充当額 11,999 千円）

地域協議会等の意見と その反映状況	—
----------------------	---

事業名	面談室の整備	
主な対象者	養護老人ホーム誠和荘入所者	
想定される対象者数	約 110 名	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日	
事業内容	利用者との面談を行うために、新たに面談室を整備する。面接環境を整えることで、利用者のプライバシー保護や、より一層の処遇向上を図るもの。	
事業の実施スケジュール	1 か年度 目	面談室の整備
	2 か年度 目	—
	3 か年度 目	—
	4 か年度 目	—
	5 か年度 目	—
事業費積算 (概算)	面談室の整備：658 千円程度	
	合計	659 千円（うち社会福祉充実残額充当額 659 千円）
地域協議会等の意見と その反映状況	—	



**6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由**

--